

VOL.  
2  
2026年度様々な領域で実用化が進むフィジカルAIの現状  
を知り、将来を語ろう

が、2026年6月12日に開催されました。

当日はハイブリッド開催で約60名の会員の皆さまにご参加いただきました。今回は、フィジカルAI分野の専門家の先生方に登壇いただきました。フィジカルAIやヒューマノイドロボットについて、技術面に加え、社会実装の視点からも幅広い活用事例を紹介いただきました。また、現地開催のみで実施された総合討論では、「少子高齢化が進んでも、“老いてはAIに従って”幸せな世の中は実現するのか？」をテーマに、AIと人間の関係性や社会実装に伴う課題について、多角的な議論が展開されました。続く交流会においては終始賑やかな雰囲気の中で議論が交わされ、産学交流が一層深まる有意義な機会となりました。

## 講演の様子



## 講習会・交流会の様子



## 講師からのお話

人とロボットが同じ空間で協働するためには、安全性、信頼性、法制度、そして人とのコミュニケーションが欠かせません。ロボットを単なる機械ではなく、人間の能力や行動範囲を広げる**パートナー**として捉えましょう。

## 会員さまの声

- フィジカルAIやロボットの話が、少子高齢化に伴う人手不足やエネルギー問題、介護など、日本社会が抱える課題と深く関係していることが分かり、技術の可能性をより広い視点で捉えることができました。
- 講演を通じて、20年、30年後の社会で介護や高齢者支援の場面でロボットが身近な存在になる未来が印象に残りました。
- AIやロボットに仕事が置き換わる可能性がある一方で、AIの出力を判断し、修正し、責任を持って活用する力は人間に求められます。AIを単なる脅威ではなく、使いこなすべき道具として向き合うことの重要性を感じました。
- 自分の専門分野とは異なる企業や研究者の話を聞くことで、新しい視点や応用のヒントを得られる。参加者同士の交流を通じて、業界を越えた学びがある点も、この講習会の大きな魅力だと感じています。

## 学生チーム

## 学生チームの活動開始

本講習会では、企業会員との産学交流の場とするとともに、学生が企業の方々と直接交流できる機会を創出するため、学生チームが活動を開始しました。学生は総合討論において、学生の視点から企業の方々と意見交換を行います。また、懇親会での交流を通じて、企業の考え方や社会課題に触れることもできます。学生にとって、将来のキャリア形成や本講習会への参加だけでは得られない知見や経験を得られることが期待されます。

## 今後の講習会情報

次回開催：2026年9月17日（木）

テーマ：3D実装関連

最新情報は[グリーン・DXプラズマコンソーシアム（CGDP）のホームページ](#)でチェックしてください